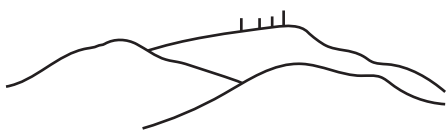


Youth Manna

2021/11/8 - 11/14



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/11/8(月)

ヨブ記 28 章

この章では、ヨブは理由が分からない苦しみの中でどのように生きるか知恵が必要だと知恵を探し求めています。金銀や宝石のような価値ある物は取り出すまで大変だけど場所が分かっているが(1.2.6)知恵はどこにあるかも人には分かりえないとヨブは言います。(12.13)探り求めながら、その答えは神こそ知っていることに辿り着いたヨブは「主を恐れることこそ知恵である」ことに導かれました。

あなたが悩んでいること、分からないこと、全ての答えを持っている知恵である神様に心にあることを祈ろう。

2021/11/9(火)

ヨブ記 29 章

ヨブは苦しみの中で、自分が幸せであった日々を思い出している。神様が守ってくださった日々、ヨブは神様との親しい交わりの中にあり、人々からも尊敬され、弱い者の味方となり、多くの人々を助け、心には平安があった。

ヨブのように誠実で直ぐな心を持ち、神を恐れて悪から遠ざかっている者は、地上には一人もいなかった(1:8)ので、ヨブの姿を私たちに重ね合わせることは難しいけれど、ヨブの告白は、やがて来られるイエス様の姿を思わせるものだ。

イエス様は神であったのに低くなって人として下られ、弱い者や罪人と共にいてくださり、私たちの罪のために苦しまれ十字架にかかられた。なぜイエス様が苦しみに合わなければならなかったのかを静かに思い巡らそう。

2021/11/10(水)

ヨブ記 30:1-15

前章でヨブの輝かしい過去が語られた後、本章では一転して現在の悲惨な苦しみを語っている。かつては地位の高い者も皆、自分に敬意を示したというのに、今はそうではなく、私は笑いにされているとヨブは嘆く(1-8)。卑しい者たちの笑いぐさとなり、皆私を滅ぼそうとしている。私の威厳は消え失せ、一人きりで恐怖の中に置かれている、とヨブは胸の内を吐き出している(9-15)。

ヨブの苦難は、皆に裏切られ、神にも見捨てられる苦悩を味わったイエス様の心を思い出させる。ヨブやイエス様のような苦しみの深さを考えてみよう。

2021/11/11(木)

ヨブ記 30:16-31

デボーションの箇所としては、数週間ヨブの苦しみだけが、ただ続いているだけで神様の解決や介入がヨブ記ではこんなにもないのかと改めて思ってしまう。

ヨブの立場からすると、友からも神様からも責められて心はボロボロになっていただろう。21節では「あなたは、わたしにとって残酷な方になり、御手の力でわたしを攻めたてられます」と、神様が自分の味方ではないと嘆いている。

私たちに、何もかも失ってもなをさらなる苦しみにあうヨブの苦しみははかり知れない。しかしその時も神様が見捨てたわけではなく、共にいた。神様の計画も私たちに、はかり知れない。

どん底にいるような時も神様はともにいる。どんなときも神様が覚えておられることを覚えよう！！

2021/11/12(金)

ヨブ記 31:1-15

ヨブは自分の身の潔白を主張し、心に情欲を抱いて女性を見たり誘惑したこともなく(9-12) 奴隷達の権利も踏みにじったこともない(13.14)と具体的な行為だけでなく心の動機にまでも掘り下げて言っています。ヨブの全てが正しいかは分からないけど、奴隷はこの時代酷い扱いを受けていた中でヨブは親切にしていたこと、神様が見た目だけではなく心も見ると知っていて神様を恐れて(大切に)歩んでいたところから私達が教えられることはあると思います。

●心にある小さな罪をそのままにしないだろうか？

●神様を大切に、周りの人にも親切にしていこう！！

2021/11/13(土)

ヨブ記 31:16-40

ヨブは、自分が正しいということを証明するように、次々に例をあげて罪を犯していないと宣言しているね。今回の辛い状況はヨブが原因ではないものだから、自分は悪くないことをはっきりさせたいと思っても仕方がないかもしれない。あまりにも辛くて神様に助けを求めたり、頼ったりすることはできなかったんだ。苦しみの中で諦めず、神様に頼り続けるのは本当に難しいね。

そしてただ1人自分のためだけでなく、私たちの罪のために苦しみを負ってくれて、最後まで神様に目を向けて苦しみを受け切ってくれたのが、イエス様なんだ。どんな時も神様に目を向けて頼っていけるように祈ろう！

2021/11/14(日)

ローマ 9:1-18

パウロは神の選びの民であるイスラエルが、素晴らしい福音をかたくなに拒んでいくことを心から悲しんでいました。そのような人々にパウロは旧約聖書の出来事から神の主権がいつでも人のわざよりも先であること、何よりも神のことばが先にあるのだと、語ります。

16節「ですから、これは人の願いや努力によるのではなく、あわれんでくださる神によるのです。」

私たちも同じように、神の主権とあわれみによって信仰をもつことができました。神様が愛してくださるから、私たちも神様を愛することができます。(1ヨハネ4:10)

私たちの毎日の歩みは、自分の願いや努力と、神様のことばはどちらが先になっているでしょうか。静まり考えてみよう。